

# 御成敗式目



御成敗式目とは、鎌倉時代に制定された武家政権のための法令で、源頼朝以降の武家社会での慣習や道徳をもとに制定された最初の成文法です。

承久の乱以後、幕府の権力は全国に及んでいきましたが、日本を統治する上で指標となる道徳や倫理観、慣習が各地で異なるため、武家社会、武家政権の裁判規範として制定されました。